



文責 本宮小学校長 佐久間仁

遠足 足楽しいなII

《子どもたちの作文》

遠足のこじ

二年 かとう しゅん



ぼくは、遠足でコミュニティふくしまというところに行きました。ふくしまでおきたことや、今のふくしまのことを学んできました。三・一クロックは、ひがし日本大しんさいがおきてから、今までの時間がひょうじされていて、すごいと思いました。

へやの中にさらさらしたようなすなばがありました。すなの地形にあわせて、えいそうがへんかするところでした。そこでは、エネルギーをつくって、おくれるようになっていたので、とてもおもしろかったです。

こんど、家ごと行ってみたいです。行ったときには、またエネ

ルギークリエーターをやりたいです。すなが気持ちいいので、またやりたいです。

遠足で感じたこと

二年 まつ田 かいと

九月十三日に、みんなでバスにのって、コミュニティに行きました。はじめに、じしんでつなみがおきたことを学びました。もし、ぼくのすんでいるところでおきたら、とてもこわいなと思いました。

それから、とぶたねのもけいをつくったり、すなあそびをしたりしました。ともだちといろいろなことをたいけんできて、楽しかったです。

家に帰って、じしんのことをお父さんとお母さんに話したら、いろいろなことを教えてくれました。

コミュニティふくしま

二年 うじ家 なぎさ

九月十三日に遠足でコミュニティふくしまに行きました。コミュニティふくしまでは、ほうしゃ線についてべんきょうしました。スタッフの人が東日本大しんさいのえいそうを見せてくれました。大きなつなみがきて、家がながさされているところがすごくこわかったです。すなばであそびました。ほると、水がでてきました。すなで山をつ

くると、本ものの山みたいになりました。たのしかったです。こんどは、家ごとで行きたいです。



鑑賞教室



九月十九日、午前（下学年）と午後（上学年）に分かれて、演劇「あらしの夜に」を鑑賞しました。

嵐の夜に真っ暗な小屋の中で出会ったヤギとオオカミが、互いの素性を知らないまま友達になります。やがて、「食う」「食われる」の関係に悩みながらも、困難を乗り越え、成長していく物語でした。子どもたちは、プロの俳優さんたちの迫真の演技に、ハラハラ、

ドキドキしながら、演劇を心ゆくまで楽しむことができました。今後、学習発表会に向けての練習が本格化してきます。今回学んだことを生かして、セリフの言い回しや動きなどを工夫し、役になりきってのびのびと表現する姿を期待したいと思います。



【交通安全に気を付けよう】

九月二十一日（土）から三十日（月）まで「秋の全国交通安全運動」が行われます。



日が短くなり、薄暮時などの交通事故が心配される季節になりました。運動の重点である「反射材の着用」「早めのライト点灯」「自転車乗車時のヘルメット着用」などを心がけ、事故のない安全な毎日が過ごせますようご配慮をお願いします。